

報道関係各位



## 国立印刷局の「文化庁長官特別表彰」受賞について

この度、独立行政法人国立印刷局は、永年にわたり芸術性と技術が高度に融合した「お札」を製造するとともに、国内の芸術系・美術系大学において、専門の技術者である「工芸官」の技巧に関する講義を実施するなど、日本の文化芸術の振興に寄与した功績が認められ、「文化庁長官特別表彰」を受賞することが決定されました。

「文化庁長官特別表彰」は、今年度から新たに設けられ、文化活動に優れた成果を示し、我が国の文化の振興に貢献された方々、又は、日本文化の海外発信、国際文化交流に貢献された方々のうち、発信力の高い方や団体に対し、その功績をたたえ文化庁長官が表彰するものです。

なお、今回の国立印刷局への表彰は、平成元（1989）年に創設された「文化庁長官表彰」を含め、府省庁・独立行政法人を含む国の機関としては初めて文化庁長官から授与されるものです。

### 【国内の芸術系・美術系大学における講義の概要】

独立行政法人国立印刷局は、日本銀行券の製造をはじめ、官報、パスポートなど国民生活に密着した製品を製造している組織です。当法人は、明治4年（1871年）に大蔵省紙幣司として創設され、国民の皆様からの「信頼」に支えられ、令和3年に創立150年を迎えました。国立印刷局には、高度なアート之力（芸術性と技能）を有した「工芸官」と呼ばれる専門職員が在籍しており、国民経済に不可欠なインフラストラクチャーである日本銀行券やパスポート等のデザインや原版製造は、「工芸官」が担っております。

国立印刷局では、令和4年度から国内の芸術系・美術系大学の学生を対象として、高度なアート之力（芸術性と技能）を有した工芸官の高い技術と細密な彫刻を次世代に伝え、継承することが、文化・教育活動の一助に繋がるものとして、講義を開始しました。令和4年度は2大学、令和5年度は6大学、令和6年度においては4大学と1専門学校で開催し、美術や芸術を学ぶ学生のキャリアプランの可能性と選択肢を提供する機会として実施しております。大学側からも、アート之力が実経済のインフラストラクチャーとして機能している日本銀行券の製造において、その中核をなしていること、すなわち芸術と実業の究極の融合を具現化している好事例として、アートが社会に貢献する良い機会になったとの声も頂いております。

このような取組は、銀行券に対する国民の信頼を維持するために必要な情報として、日本の伝統文化が独自性のある産業として結実した姿を外部に発信するとともに、国立印刷局におけるモノづくりが古来から続く日本文化及び伝統技能の確認、継承の場となっていること、また、工芸官のアートの質の高さが製造する製品の偽造防止技術の基盤となっていることから、国立印刷局が長年培ってきた工芸官の高い技術を国民の皆様知って頂くことを目的とした、社会貢献活動の一環でもあります。

【講義の様子（2023年4月実施）】



お問い合わせ・連絡先  
独立行政法人国立印刷局  
総務部総務課広報官室  
電話 03-3587-4210  
03-3587-4211  
E-mail : [proffice@npb.go.jp](mailto:proffice@npb.go.jp)